

令和5年
4月9日執行

栃木県議会議員選挙選挙公報

栃木市選挙区

栃木県選挙管理委員会

Profile 板津ゆか
プロフィール

1988年生まれ。愛知県名古屋市出身。大学1年生で世界一周 (PEACE BOAT)、日本一周、南米ペルーの考古学博物館や日本の民俗学博物館に勤務。外資系大手IT企業で金融機関のデジタル化等に貢献。2020年、MoneyAtrium株式会社設立。法人・個人向けに資産運用のアドバイスやセミナーなどを行う。YouTubeにて金融教育についての動画を配信。ファイナンシャル・プランナー、行政書士、学芸員、高等学校教員免許。趣味は、芸術・映画鑑賞、読書、乗馬、旅行、バスケットボール、キックボクシング、サーフィン、愛犬とのSUP

板津ゆか

34歳

無所属
・新人



無所属

いたづ
板津ゆか

昭和63年5月11日生 34歳

大型商業施設「ららぽーと」の誘致

1 住みたい街「とちぎ」へ大型商業文化施設を誘致



栃木市には、「ららぽーと」などの大型商業施設やオペラハウスやコンサートホールなどの大型文化施設がなく、屋内の子どものレジャー施設や職業体験施設 (キッズニア等) がありません。また、ペットと店内で過ごせるカフェ、レストランや大型屋内ドッグランが不足しているため、都賀インター付近に大型商業文化施設を誘致し、栃木駅前に格安ホテルやリノベーション済・ペット可賃貸物件などを充実させ、観光や旅行の発展だけでなく、「住みたい街」として認識してもらおうための施設を充実させます。特に、移住者支援に力を入れ、人口流入率を向上させます。

板津ゆか 公式ホームページ



インターナショナルスクール等の開校

2 育てたい街「とちぎ」に国際的な教育施設を開校



栃木市には、教育施設が少なく、国際交流や国際感覚の身につく教育機関が乏しいため、バカロレア等 (海外の大学入学資格) の資格の取得できる一貫型のインターナショナルスクールの誘致や、高度人材の育成のための大学院の新設などを行い、世帯年収を問わず、すべての人に教育資金を支援します。栃木に住む外国人、障がい者、LGBTQなど、どのような人であっても「子どもを栃木で産み、栃木で育てたい!」と願っていたら教育施設の拡充に力を入れてまいります。

テレワーク等のデジタル化の推進

3 働きたい街「とちぎ」へ向けてデジタル化の推進



- ①テレワークの推進など働き方のデジタル化により若者・女性・高齢者の働く機会や場所を創出
 - ②農業のデジタル化で後継者不足を解消し、観光や旅行産業と協力した体験型農業の推進
 - ③公共交通機関ふれあいバスのデジタル化により、高齢者の免許返納や事故発生率上昇問題を解消
- すべての人が共に、安定して働き、安心して子育てを行える環境を整えるため、ワークライフバランスの充実を企業へ求めてまいります。

栃木の未来に、変革と成長を。

非自民の代表！生活者・庶民・弱者の代弁者

保母欽一郎は目指します。

しがらみのない 市民に寄り添う クリーンな政治



“温故創新”
県議4期 無所属 市民派

栃木創生

とちぎを守り、未来を創る。
●ひたむきに政治一筋三十五年
●国政二十年の経験と人脈

保母欽一郎「栃木創生」克服戦略

とちぎは“最高の移住定住・企業立地環境”

- 1 住むなら“とちぎ”
東京近郊からの「移住・定住・通勤」戦略！
国策を活用した「民間活力と規制緩和」戦略！
- 2 来るなら“とちぎ”
国内外からの「企業誘致・観光誘客と農業・産業団地化」戦略！
- 3 便利な交通“とちぎ”
高齢者・交通弱者を自宅から送迎する「生活交通」戦略！
主要駅と住宅地域を結ぶ便利な「公共交通」戦略！
- 4 災害に強い“とちぎ”
河川の「堤防強化」と「堆積土の除去」戦略！
「内水対策」と「自主防災組織」の強化 戦略！
- 5 共生社会の“とちぎ”
ボランティアとNPO 法人が主役の「共生社会」促進 戦略！
人に優しく「地域の絆とジェンダー平等」が息づく社会 戦略！



無所属
保母欽一郎

昭和34年11月29日生 (63歳)

投票日

4月9日(日)

- 投票所や投票時間に関しては投票所入場券を御確認いただくか、各市町の選挙管理委員会へお尋ねください。
- 投票日に、仕事やレジャーなどの用事のある方は、期日前投票をすることができます。

期日前投票ができる期間：4月8日(土)まで

○期日前投票所は、市役所、町役場などに設けられています。
(期日前投票所の場所については、栃木県選挙管理委員会のホームページをご覧ください。)
※その他、詳しいことは、各市町の選挙管理委員会へお尋ねください。